



# 東中だより

夢を追え、自らを高めよ  
— 学べ・磨け・輝け —

## 10月号

さいたま市立東浦和中学校

〒336-0932 さいたま市緑区中尾 1207-1

☎ 048-873-4141

令和元年9月27日発行

## 目標への思いの向き

校長 石川 賢一

本校の給食では、季節や様々な行事にちなんだ献立が出されます。9月13日には、中秋の名月にちなみ「月見団子」が出され、24日には、ラグビーワールドカップで日本の初戦相手ロシア代表が、さいたま市を滞在地にしていることにちなんだ「ロシア料理」が出され、美味しくいただきました。朝晩の空気も変わり、季節は少しずつ秋に移ろい、ずいぶんと過ごしやすくなってきました。



【大会でがんばる陸上部】

2学期も大きな行事があります。9月28日からは新人大会（陸上・硬式テニスは24日から）・中間テスト・市内駅伝競走大会・合唱コンクールなど。3年生は9月24日に「第1回さいたま市学力検査」が行われ、いよいよ進路選択に向けて具体的な取組が始まりました。中学校時代の「学び」は、これから生きていく上で、考え、判断する力を養う基礎となります。毎日の学校生活を大切にしてほしいと思います。

さて、みなさんの目標は、それぞれ違いますが、その目標を強く思い、何をすべきかを考え、そのすべきことを黙々と実行していますか。「目標への思いの向き」は目標へ正面を向いていますか。人は皆、そう強くありません。大人でも、うまくいかないことがあると、何か理由を見つけ、逃げてしまったり、やめたくなったり、違うことを見つけようとしたり……。私も大きな課題に直面し、プレッシャーを感じた時、「目標への思いの向き」が正面を向かず、「自分に負けた」経験は数えきれないほどあります。「自分に負ける」時は、ケガをしているからとか時間がないからとか言い訳を考えていたり、失敗を恐れ、自分をうまくコントロールできていない時だったと思います。

逆に、うまく解決できた時を振り返ってみると、苦しくぎりぎりの状況の中で、必ず「今、一番大事なことは何か」と考えることをしてきました。「今やるべき一番大事なこと」を思い直すと、「目標への思いの向き」は正面を向いてくれます。

ラグビーやバレーボールの世界大会が始まりました。来年にはオリンピック・パラリンピックが日本で開催されます。私たちに素敵な感動を与えてくれる各国の選手たち。もちろん素晴らしい記録の陰には「くやしき」「苦しき」「つらき」を噛みしめてきた選手も多いと思います。結果はどうかであれ、その人たちは、逃げずに、辞めず、「目標への思いの向き」をまっすぐにしてきた人たちです。だからこそ、見ている私たちに感動を与えてくれるのでしょう。

目標は人によりそれぞれですが、今、自分の日々を見つめ直してみてください。みなさんが、自分自身をさらに「磨け」ば、より逞しく「輝く」ことと確信しています。

これからも東中生の健闘をずっと応援しています。



【大会に向け日々がんばるサッカー部】